

風はいつも、吹いている。



# ARK no.62

秋田県立近代美術館ニュース・アーク

Akita Museum of Modern Art

## 第60回 全国美術館会議総会



今年に宇田の美術館の力を加えました。  
6月26日・全国美術館会議総会で挨拶を述べ省青柳会長（国立西洋美術館長）



ひとりひとり丁寧にご指導くださった佐藤さま。  
7月3日・石でMシをつくる。



あんなにこの雨天でしたが、室内撮影でシャッターチャンスも思いのままに？  
6月26日・デジタルカメラで撮る昆虫と自然



会場での藤田清治さん。  
展示の最終チェックです。  
7月21日・藤田清治の世界展・内覧会



木のクラフト教室

みんなのホをもちよった、森をつくりました。  
7月30日（31日も含む）・木のクラフト教室

## 第60回 全国美術館会議総会

全国美術館会議  
横手市で開催

国内の国公立美術館が加盟する組織「全国美術館会議」（全美、会長＝青柳正規・国立西洋美術館館長）の第60回総会が、5月26日にここ横手市で開催されました。総会を開始するにあたり、東日本大震災被災者への黙祷が行われました。青柳会長は挨拶で、全美の依頼だった美術品国家補償法が成立したことについて言及し、会員館への謝意を表しました。総会には全国126館が出席。ホスト館である当館の河野元昭館長を議長に選出して、進行了。本年は役員改選の年にあたり、青柳会長、徳川義崇副会長（徳川美術館館長）が再任され、建畠哲（埼玉県立近代美術館館長）と山脇佐江子（姫路市立美術館館長）の副会長への新任が決定しました。再任された青柳会長は、「震災で日本全体が厳しい状況のときこそ、美術館活動の活力を小さくしてはならない。」と挨拶しました。

後半は「東日本大震災と美術館」と題して特別セッションが開かれました。被災地区5県から岩手県立美術館、宮城県美術館、福島県立美術館、栃木県立美術館、茨城県近代美術館の代表が、自館と近隣館の被災状況を写真資料とともに報告。特に被害が甚大だった石巻文化センターでは文化庁の「文化財レスキュー」活動により、同センターの収蔵品が宮城県美術館へ移送され、応急処置を受けている実例も報告されました。

翌27日には、150名余りが当館へ視察に訪れ、開催中の特別展「アートで虫むしコラボ大作戦」とコレクション展「日本画セレクション」などを鑑賞しました。「アートで虫むし〜」を初め、当館の展示は高い評価を受けました。

震災の影響で一時は開催が危ぶまれた総会でしたが、「このような時にこそ東北で開催する意義があるのではないか。」という全国的美術館関係者の熱い思いが結集し、無事開催することができました。関係者の方々に心より感謝申し上げます。そして、被災地の日も早い復興をご祈念申し上げます。（担当・小野）

□総会：5月26日

□特別セッション「東日本大震災と美術館」：5月26日

□情報交換会：5月26日

□施設見学：5月27日



5月26日・特別セッション「東日本大震災と美術館」の河野元昭館長

## 東日本大震災余話

3月11日、東日本大震災発生時の来館者は2名、ほかにボランティアが1名。職員は館長を含めて18名が勤務中。直後から停電となり、非常灯が点灯。職員は揺れている中、直ちに4階から5、6階展示室のお客様とボランティアの安全を確認した後、施設や美術品の被害状況を確認。幸い、けが人もなく、展示作品が多少ずれたものの、建物にはほとんど被害はありませんでした。なお、当時美術館の周りは1メートル以上の積雪があり、館外の広い場所へ避難するのは難しい状況でした。

発生時、総務・学芸職員は大半が事務室、そして館長室には館長がいたのですが、正しい対処をしたのは館長一人でした。そう、机の下に潜ったのです。地震時には、何よりも身の安全の確保が第一なのです。

当日、館長は帰宅予定でしたが交通機関が麻痺し、横手に足止め、停電のホテルに連泊することに。食事のままならぬ状況でしたが、解説員の差し入れのおにぎりと、初めて食べたというカップ麺の味にえらく満悦でした。（担当・三浦）



5月26日、理事会を聴く小野副館長

# 美×虫

## アートで虫むし とびきりコラボ大作戦!

2011.4.23(土)~7.13(日)

この展覧会は、2006年に実施した企画展「アートでむしむし展」の第二弾として開催いたしました。名前のとおり「虫」が登場する作品をそろえ、「描く」「創る」「現在の美術」の3つのテーマで絵画、彫刻・工芸、写真・現代美術を紹介したものです。作品に登場する「虫」と同じ標本を並べて、アーティストの表現と見くらべられるように構成しました。

絵本の主人公「みみお」と虫たちのやりとりが変らぬ鴻池朋子さんの作品は、鉛筆の繊細なタッチと1点1点、作品を標本箱に収める展示で注目を集めました。わずか1cm足らずのゾウムシを、1m以上にまで巨大化した小椋山賢二さんの写真は、ピント合わせが独自の手法によるもので、その精緻な画像はご観覧の方々の関心を惹いたようです。

子どもたちの感想では、男子はやはり佐藤正和重孝さんの甲虫の彫刻作品に関心が集まりました。「カブトの角などの複雑な形は石で作ったとは思えない。」これは硬い石が本物のように変身した様に驚く声でしょう。女子では「みみおの作品が心に残っています。(中略)『虫』という私はあまりいいイメージはもてないのですが今回の絵を見て『虫』を見る目が変わりそうです。」というのがありました。このように鴻池朋子さんの原画をはじめ展示作品を通して「虫」に対する見方が変わるとの感想も幾つか寄せられています。また、「虫の絵はともよく観察して描いているなあと感じ、私もこれから『虫』を描くときはよく観察をしたい。」とスケッチへの意気込みを語るものもありました。せび園工や理科の時間に取り組んでくださいね。みなさんのすばらしい「虫」たちに会えるのを楽しみにしております。

(担当・沼田)

□ギャラリートัวร์：4月24日、5月1日

□ワークショップ「デジタルカメラで撮る昆虫と自然」：6月26日

□みんなの教室「石でムシをつくらう!」：7月3日



5月19日・虫むし展を鑑賞する山田中学校のみなさん(セカンドスクール)



男爵の「赤神神社五社堂」の石段が展示室に!!

## 藤城清治展、大盛況!

7月22日(金)~9月25日(日)

影絵界の第一人者藤城清治さんの展覧会が当館で開催されました。87歳になられた藤城さんの最新作をはじめ、初期のモノクロの影絵や油彩、デッサンなどあわせて202点が展示されました。来館者からは「初めて本物をみた」「写真で見たのとは違う幻想的な雰囲気」「色使いがきれい」と感動の声が寄せられました。また、秋田の美しい自然や行事をテーマにした作品も展示され、それをお目当てにする方々、県外からのお客様もおり連日大盛況でした。

秋田の作品制作に当たって、藤城さんは現地に何度か足を運びそこで幾枚もデッサンをしています。そしてそれを元に細かい作業を積み重ね、時には徹夜して作品を仕上げたといひます。

一枚の作品にかかる時間や情熱はどれも半端なものではありません。藤城さんの「元氣と生きる喜びをあげたい」という気持ちがかめられた作品は、多くの方々

に感動を与えてくれました。ところで今回は、展示室の中が迷路のようになり、水や鏡を使った水槽展示やカレドスコープ、くるくる回転する影絵人形などたくさんのお仕掛けがありました。お楽しみいただけでしょうか。実はこの展示室は、30人以上のスタッフが1週間かけて作りあげたものなのです。開幕前日に届いた藤城さんの作品のセッティングも夜を徹してやり遂げてくれました。細かい作業を積み重ね一枚の影絵を作る藤城さん。そして、コツコツと展示室を作り上げたスタッフのみなさん。それぞれやっている仕事は違っても、ひとつのものを作り上げることに思いが一緒になって今回の展覧会場ができあがりました。ものを作るということへの情熱、人と人とのつながり、その思いが伝わる展覧会でした。

(担当・櫻尾)

□ギャラリートัวร์：7月24日、9月2日

□サイン会：8月7日、20日、21日、9月8日、24日



平成 23 年度第 1 期コレクション展  
**日本画セレクション**  
 4月13日(水) - 7月10日(日)

全国美術館協議日程 2 日目、当館で施設見学が行われました。6F では当館自庫の秋田絵画『不忍池図』を展示し、作品解説を行いました。シャクヤク、キンセンカ、サルビアが描かれた理由についてお話ししている。酒井忠康世田谷美術館長からお声がかかりました。「私も昔、秋田絵画の論文を書いたことがあるが、それは 30 年ぶりの新説だ」と仰るのです。酒井館長も飛び入りで、遠小近大構図の解説をなされました。さすがに美術館の名士ぞろい、その後は矢張り早に疑問攻めにあった次第です。



平成 23 年度第 2 期コレクション展  
**THE 柴田安子**  
 7月13日(水) - 10月10日(日)

手のひらの秋田政経と題して、柴田安子の小さな風景のスケッチをご紹介しました。みなさんは Shangri-La を見つけられましたか。画用紙に鉛筆、色鉛筆、そして水彩絵の具、使っている画材はありふれたものでも、目の前の大パノラマから切り取られた小さな小さな風景画は心に残る、美しい輝きを放っていました。春の野山の息吹がそこに凝縮されているようです。以前の展覧会で「スケッチ・高原」は公開されませんでした。裏に描かれている植物の方を展示したのです。制作してから 65 年の時を経て、今回初めての公開となりました。



柴田安子 スケッチ・高原 (部分) 1946 年頃

11 2011 年度・上半期の美術館レポート

特別展 アートで虫むし とびきりコラ大作戦! 光と影のファンタジー 藤城清治の世界展	4.23-7.13 7.22-9.25
コレクション展 ●第 1 期 日本画セレクション ●第 2 期 THE 柴田安子展	4.13-7.10 7.13-10.10
みんなの教室 ●石でムシをつくらう! 講師：佐藤正和夏幸さん(彫刻家)	7.3
木のクラフト教室 講師：山本文志(当館学芸員)	7.30,31
美術館教室 ●油彩画教室 講師：渋谷重弘さん(秋田公立美術工芸短期大学教授)	8.21,28
彫刻教室 講師：菅川嘉博さん(秋田公立美術工芸短期大学准教授)	9.25,10.16
ワークショップ ●デジタルカメラで撮る昆虫と自然 講師：小樽山賀二さん(慶応大学名誉教授)	6.26

めぐるおしでした。

●ギャラリートークなど ●アートで虫むし展 ギャラリーツアー	4.24,5.1
●藤城清治の世界展 ギャラリートーク 藤城清治サイン会	7.24,9.2 8.7,20,21,9,8,24
●THE 柴田安子展 ギャラリートーク	7.13,17
第 60 回全国美術館会議	
●総会 会場・横手セントラルホテル	5.26
●特別セッション「東日本大震災と美術館」 会場・横手セントラルホテル	5.26
●情報交換会 会場・横手セントラルホテル	5.26
●施設見学 会場・秋田県立近代美術館	5.27

i information  
 ■これからの展覧会■

特別展 ●ハイチの素朴な絵画展	10.1-11.27
企画展 ●時代のよそおい展	12.3-2012.2.12
●野野五郎素描展	2012.2.18-4.15
コレクション展 Art Report Akita ●第 3 期 日本画の風景	10.14-2012.1.9
●第 4 期 所蔵名作選 (予定)	2012.1.20-4.8

美術館 HP はもちろん、「秋田県立近代美術館」を検索!

- つくる、しる、たのしむ
- つくる
  - みんなで作る  
小学生低学年以下の児童から一般まで参加できます。小学生低学年以下の児童が参加する場合は保護者同伴。グリーティングカードづくり 12.18 3.4
  - 専門的に作る  
中学生以上一般を対象にしています。日本画教室 11.6 デッサン教室 2.26
  - しる・たのしむ
  - ミュージアムコンサート 9.18,10.9,10.30
  - ギャラリーツアー 10.2,11.13 他(予定)

秋田県立近代美術館  
 Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30-17:00(入館は 16:30 まで)  
 休館日 12/29-31、2012/1/10-19  
 交通 ●秋田自動車駅・横手(インターより3分)  
 (バス乗降所) ●バス(乗降所) ●〜のぼる道(15分)

- 2011年9月30日発行
- 発行編集・秋田県立近代美術館  
013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46  
TEL0182-33-8855 FAX 0182-33-8858  
E-mail akitamma@rnac.ne.jp
- デザイン・T.Yamamoto ●印刷・増田印刷
- 表紙 photograph 『ひまわり』撮影・菊池信夫